ふれあいネットワーク・みと

水戸市社会福祉協議会広報紙

No.192
令和4年(2022)
3月15日号
年4回(3・6・9・12月)
発行

みんなのしあわせ

主な内容

●私たちの社協……2～3P
●福寿のつどい……4P
●みと社協NEWS……5P
●ご芳志ありがとうございました……7P
●ボランティアセンターだより……8P

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

10月1日に始まった共同募金運動。多くのみなさまにご協力をいただきありがとうございました。

12月4日(土)・5日(日)に行った街頭募金の様子です。写真(左)はあさひ幼稚園のみなさんが募金を持ってきてくれた時の様子です。

多くの方々からお寄せいただいた募金は、様々な福祉活動や災害支援等に役立てられます。

(関連:5P みと社協NEWS　6P 募金実績)

特集

私たちの社協

福祉のまちづくりを目指している社協には、どのような人が働いているのでしょうか。

今回の特集では、水戸市社協の若手・中堅職員が仕事に対する姿勢や利用者・地域の方々と接する上で大切にしていることなどを取り上げました。普段、異なる部署で働く職員同士。お互いの業務の理解を深めながら、やりがいを感じる場面や今後の目標などを語り合いました。

【問合せ先】総務企画課　☎029-309-5001

（右から氏名・主な担当業務）

笹沼　学
・ボランティア活動の支援

佐伯　亮太朗
・高齢、障害者の生活支援

粕谷　佑季
・赤い羽根共同募金の活動支援

栢内　聡美
・生活困窮者世帯の児童・生徒の学習支援

小貫　裕隆
・知的障害者の就労支援

悩んだ先に感じること

日々、心掛けていることはありますか。

笹沼　ボランティアの振興事業を担当しています。もっと若い世代に活躍してほしいです。災害時のボランティア活動には、比較的若い方が多いですが、普段のボランティア活動には少ない。若年層のボランティアが増えるよう、さらにボランティアの魅力を高める発信をしていかなければならないと感じています。同時に、活動の場での何気ない会話から得られる信頼関係を大切にし、ボランティア活動の理解を広めていきたいと思っています。

粕谷　共同募金を担当しています。地域の様々な方にご協力いただき心から感謝しています。しかし、時には厳しいご意見もあるため、募金の目的やしくみをどのようにお伝えすればご理解いただけるのか、日々悩みながら業務を行っています。一人一人にとって共同募金は身近にあるものと感じてもらえるような取り組みを展開していく必要性を感じています。

小貫　障害者施設で就労支援を担当しています。利用者中心にパン・クッキー作りや清掃作業を行っています。プロの技術と同じ仕上がりが求められるので、利用者支援と作業技術指導を両立させなければならないことに苦労しています。日々、利用者と共に作業技術の向上を目指し、嬉しいことに新規の作業依頼が増えてきています。利用者の工賃額が茨城県・全国平均より高い水準で支給できていることは、自分自身もやりがいにつながっています。

栢内　生活困窮者世帯の子どもたちの学習支援を担当しています。小学校低学年から中学3年生までいますので、一人一人の様子を見ながら、安心して通える場所になるよう心掛けています。「できた！」が増えることや毎週いつもどおり通ってくれることが嬉しく、こちらが元気をもらっています。

佐伯　高齢者と障害者のデイサービスで生活支援を担当しています。より良いサービスを提供するための利用者との関係構築が難しいです。良い距離感を保つために、1日1回は、全員

皆さまより集められた社協会費は、支えあい・助けあいのための事業推進を支えています。

に声を掛けるように心掛けています。

これからの未来

今後の目標を聞かせてください。

栢内　地域全体で子どもの現状に関心を持ち、子どもたちが安心して過ごせる場所が増えるよう、学習支援を通して出来ることをしていきたいです。

粕谷　地域での支え合い、助け合いを推進していくことが社協の役割だと感じています。地域でのつながりをより深めていけるよう、日々、地域の方々と向き合い、寄り添っていきたいです。それによって、社協の存在を多くの方々に知っていただけたら嬉しいです。

佐伯　人の痛みが分かる人間になりたいです。相手の気持ちを理解して、思いやりを持って社協の職員として、接していきたいです。また、社協の事業を理解して必要としている人たちに還元したいです。

笹沼　自分の仕事に愛情を持って、市民の方から愛される社協を目指したいです。また、若い世代がもっと活躍できる場をつくり、社協全体が活性化できるようになればいいなと思います。

小貫　利用者が安心して楽しく通ってもらえることが一番のやりがいであり目標です。また、関係機関との連携を深め、利用者を総合的にサポートできるようにしていきたいです。

皆さまとともに

私たちの社協は、地域の皆さまの社協でもあります。今後とも、職員一同、福祉のまちづくりに全力で取り組んでいきます。引き続き、ご理解、ご支援くださいますようお願いします。

✧ふくしきらり人に✧
水戸市社協職員が任命されました！

権利擁護サポートセンター　米川（よねかわ）　直貴（なおき）

ふくしきらり人とは…

県内の福祉施設・事業所で働いている職員や福祉の学校に通っている学生から選任されます。きらりと輝く人物を広く紹介することで、福祉の仕事に対するイメージアップを図るもので、茨城県社協が任命します。

―ふくしきらり人としての意気込みは？

福祉の仕事は、利用者や地域住民のみならず、自分自身の生活、人生を豊かにできる仕事であると考えています。福祉の仕事の良さを少しでも多くの方に知っていただけるように頑張ります！

―上司からひと言

相談者に対して、真摯に向き合っている姿が輝いています。常に相手の気持ちに寄り添った、柔らかな態度と丁寧な言葉遣いには、人間性の豊かさがあり、今後の活躍を期待しています。

（相談支援課長　三好　正弘）

水戸市社協は、こんなところです！

水戸市社協では、高齢者・障害者等の相談、ボランティア活動に関することなど様々な事業を展開しています。お気軽にご相談ください。

また、社協で一緒に働いてくれる方を随時募集しています。詳細は、ホームページをご覧ください。

←ホームページのQRコードはこちら

赤い羽根共同募金　社協の各種事業には、赤い羽根共同募金の助成金が活用されています。

これまでの「敬老会」事業が生まれ変わります。

地域福祉推進 敬老慶祝事業「福寿のつどい」

＼「福寿のつどい」事業が目指すもの／

出会い
（社会参画）
地域活動に参加する機会をつくります。

ふれあい
（コミュニケーション）
地域交流の活発化につなげます。

ささえあい
（見守り）
支えあう地域づくりを目指します。

そして…感謝と敬意をこめて長寿をお祝いします

事業の概要

実施時期	令和4年度～	実施単位	各社協支部単位
実施内容	地区ごとに開催しますので、内容は異なりますが、お集りいただく対象者が昔話に花を咲かせ、近況を報告し合い、笑顔あふれるつどいを目指します。		
対 象 者	75歳、80歳、85歳、90歳以上 （当該年度に該当年齢に達する方（学校教育法に定める同一学年単位））		

対象とする年齢について

75歳：ちいきルーキー	これまで敬老会対象の最初の年齢で、地域活動参加へのきっかけとしていただきたいと考えています。
80歳：ちいきエース	傘寿のお祝いの年齢。男女とも平均寿命手前の年齢で、更なる地域活動の一員として活躍が期待できると考えます。
85歳：ちいきマスター	今後も地域で活躍していただくと同時に、これまでの活動に対する感謝と敬意を表します。
90歳：ちいきレジェンド	感謝と敬意を表すとともに、長寿をお祝いします。

問合せ先 地域福祉課 ☎029-309-5001

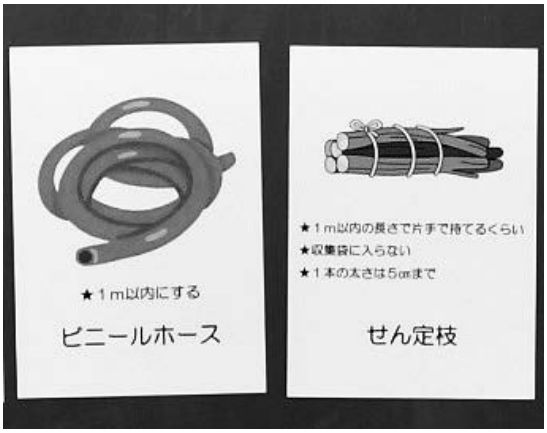
手話をとおして クリスマス会

歳末たすけあい募金が使われています

12月18日（土）、手話サークルさくらんぼがクリスマス会を開催しました。30人の方が集まり、聴覚障害者と健常者が手話を通して楽しく交流しながら、よりお互いが関心を持つことが出来ました。

参加者からは、「普段なかなか会えない人と会えてとても嬉しかった」「クリスマス会を前から楽しみにしていた」などの感想があり、終始笑顔が絶えない交流会でした。

※このクリスマス会は、毎年みなさまからご協力をいただいている「歳末たすけあい募金（赤い羽根共同募金）」の助成金により実施されています。



ごみ分別カードゲームに挑戦

12月9日（木）、水戸市立柳河小学校にて、3年生・4年生の複合学級18名を対象に、ごみ分別カードゲームを行いました。

水戸市では、令和2年4月からごみや資源物の分別方法が新しくなり、多くの方々の声から水戸市社協では、分別方法を楽しく学べるカードゲームを作り、地域の皆さんと取り組むこととしました。小学校で行うのは初めて。今回は、子どもたちと学ぶSDGs促進の一環として行いました。

児童の一人から「カードゲームでお勉強できて、楽しかった!!」と嬉しい感想をくれました。今回の体験が、環境問題について家族で話し合うきっかけとなれば幸いです。

令和３年度　社協会員会費実績表

○社協会員会費は、地域福祉を進めるための大切な財源です。社協各支部の福祉事業や市内における地域福祉活動の資金になっています。

（単位：円）

支部名	会費実績額	支部名	会費実績額
三の丸	819,150	寿	890,190
五　軒	818,500	吉　田	959,100
新　荘	746,200	吉　沢	955,500
常　磐	940,300	酒　門	1,018,100
堀　原	692,800	上大野	317,000
浜　田	1,250,200	柳　河	381,500
城　東	1,113,000	渡　里	961,000
千　波	1,509,000	国　田	329,500
見　川	1,013,500	飯　富	420,000
梅が丘	1,556,600	下大野	314,500
石　川	1,063,700	稲荷第一	293,500
赤　塚	296,600	稲荷第二	234,000
河和田	643,300	大　場	259,500
上中妻	649,000	内　原	640,500
双葉台	1,013,700	鯉　淵	552,500
山　根	115,500	妻　里	524,000
緑　岡	1,388,250	事務局	619,000
笠　原	801,000	合　計	26,099,690

令和４年1月 31 日現在

令和３年度　水戸市の歳末たすけあい事業実績表

（単位：円）

助成先		申請数	助成額
在宅者	ひとり暮らし高齢者世帯	295件	2,950,000
	ねたきり、認知症高齢者世帯	2件	20,000
	準要保護世帯	33件	330,000
	重度障害者（児）世帯	57件	570,000
	未就学児のみを養育している母子父子世帯	10件	100,000
	●在宅者援護金助成　計	397件	3,970,000
●歳末地域たすけあい事業助成		57件	2,641,000
助成諸経費			286,210
合　計			6,897,210

令和３年度
水戸市の共同募金・歳末たすけあい募金実績表

（単位：円）

区分	地区	実績額	地区	実績額
戸別募金（小学校区毎）	三の丸	635,820	笠　原	914,000
	五　軒	560,000	寿	1,034,240
	新　荘	812,500	吉　田	795,100
	常　磐	1,046,100	吉　沢	1,076,600
	堀　原	725,350	酒　門	1,117,100
	浜　田	714,450	上大野	405,000
	城　東	899,350	柳　河	538,800
	千　波	1,362,000	渡　里	1,012,580
	見　川	1,044,800	国　田	413,200
	梅が丘	1,123,850	飯　富	516,800
	石　川	1,207,000	下大野	365,100
	赤　塚	362,000	稲荷第一	483,900
	河和田	881,900	稲荷第二	239,500
	上中妻	811,500	大　場	326,400
	双葉台	1,000,850	内　原	926,850
	山　根	157,000	鯉　淵	891,100
	緑　岡	1,569,720	妻　里	722,600
小　計				26,693,060
法人・団体・篤志家募金（地区民生委員児童委員協議会毎）	中　央（三の丸・五軒・柳河）			879,000
	新　荘			439,000
	常　磐			389,300
	石　川			240,000
	東　部（浜田・城東・上大野）			782,000
	南　部（吉田・吉沢・酒門）			610,000
	緑　岡（緑岡・笠原・寿）			752,000
	見　和（見川・梅が丘）			221,000
	千　波			480,000
	渡　里（渡里・堀原）			452,000
	北　部（国田・飯富）			218,000
	赤　塚（赤塚・河和田・双葉台・山根・上中妻）			543,000
	常　澄（下大野・稲荷第一・稲荷第二・大場）			189,000
	内　原（妻里・内原・鯉淵）			370,920
	事務局			630,000
小　計				7,195,220
・街頭募金				205,248
・イベント募金				202,177
・職域募金				204,470
・学校募金				148,912
・寄付付き商品				27,920
・その他				404,607
小　計				1,193,334
合　計				35,081,614
県共募預かり金（募金ができる自動販売機からの寄付金など）				441,583
総　合　計				35,523,197

令和４年1月 31 日現在

赤い羽根共同募金の助成金は、地域福祉の推進に役立っています。

令和３年度　社会福祉法人　水戸市社会福祉協議会

賛助会員・団体会員の皆さまありがとうございます（敬称略・順不同）

地域貢献活動としてお寄せいただいた会費は、地域福祉推進の貴重な財源として活用いたします。今後も会員を増やす努力をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

賛助会員の皆さま

（一財）茨城県住宅管理センター、遠藤米穀店、いばらきコープ生活協同組合、新安全警備保障㈱、㈱フジタビジネスマシンズ、笹沼自動車整備工場、中央労働金庫水戸支店、第一熱学建設㈱、茨城寺岡オートドア㈱、（社福）親愛会、㈱エバタコーポレーション、㈱ロングライフ、ハタミ特装㈱、水戸通信工業㈱、茨城県火災共済協同組合、茨城サニット㈱、㈱ロシナンテ、（一社）春風、㈲サインボード・ジュン、㈱暁恒産、㈱アビック、（社福）徳泉会、（社福）茨城県社会福祉事業団、㈱電化センタータカハシ商会、水戸ヤクルト販売㈱、㈱アイデム水戸営業所、（一社）ＭＩＪＷ-水戸発夢を叶えるプロジェクト、鈴木精肉店、和興自動車㈱、堀江青果㈱、水戸プラザホテル（㈱伊勢甚本社）、アクアテクノ㈱、TA.AGENT、㈲ロビンス熱工業、㈱サンアメニティ茨城支社、㈱田徳、大昭和カーペット㈱、小林紙商事㈱、橋本電炉工業㈱、㈱光和印刷、㈲一心、東京美装興業㈱茨城営業所、㈱ニシノ産業、ウルノ商事㈱、水戸ホーチキ㈱、㈲勤協商会、中央みるくセンター、クレンリーアート㈱、自立生活センターCILいろは、㈱エム・ビー・シー、総合病院水戸協同病院、（社福）友幸会、（特非）ひと・まちねっとわーく、魚三、（社福）城北福祉会、㈲ワイズピット、㈱関東技研、㈱柴建築設計事務所、㈱日創工業、㈱三浦商店、（社福）ユーアイ村、㈱坂塲商店、㈱小貫写真館、明利酒類㈱、茨城測量設計㈱、匿名個人２名

団体会員の皆さま

（社福）光風会、（社福）北養会 介護老人保健施設くるみ館、（社福）恒勝会 特別養護老人ホーム ライフピア河和田、（社福）同仁会 内原和敬寮、（社福）同仁会 内原深敬寮、（社福）勇成会 障害者支援施設ありすの杜、（医）それいゆ会 べるびー水戸、（社福）地球の子ども会、（特非）優心会、（社福）緑会、（社福）ひだまり会 障害者自立支援センターゆきわりそう、（社福）尚生会 介護老人福祉施設グリーンハウスみと、（社福）栄寿会 第二若葉園、（社福）愛の会 特別養護老人ホーム双葉陽だまり館、（社福）清香会 あゆみ園、（社福）祐徳会、（社福）清香会 育心園、（社福）愛友園、（一財）安寿苑、㈱ツクイ ツクイ水戸、（社福）くれよん、（社福）豊心の会、（社福）聖光学園、（社福）新水会 のぎく保育園、（特非）ふくろう、（一社）水戸市医師会 訪問看護ステーションみと、（社福）やまびこの里福祉会、（社福）樅山会、あけぼの学園、（社福）桃李苑会 小吹保育園、（社福）北友会 特別養護老人ホーム渡里すずらん苑、（社福）大翔会 つばさ保育園、（社福）恵和会、（社福）恒勝会 特別養護老人ホーム ライフピア青柳、㈱マネジメントセンター、日本赤十字社茨城県支部乳児院、（社福）小川会、（社福）ローズマリー学苑

みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会　令和3年11月～令和4年1月受付分（敬称略・順不同）

寄付金（社会福祉事業に）

岡﨑彪志／やつでの会／真如苑／水戸ライオンズクラブ／JA祭典水戸／水戸友の会／茨城新聞文化福祉事業団／他匿名2名

（令和4年度1月末累計額　770,136円）

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

水戸市母子寡婦福祉会／水戸更生保護女性会／げんこつの会／荘司良一／荘司ひで／園部美喜子／混声合唱団コール水戸／たまり場かねた／（一社）茨城県電設業協会／田口美代子／内原すみれの会／宮下かし子／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会見川支部／宇野一枝／水戸市社会福祉協議会渡里支部／田口三智子／後藤謙一／レディスピア／外岡健夫／石井かつ江／ときわふれあいでんわの会／坂場和美／（有）清水建設／木内綾子／杉山キミ／朗読ボランティア「コスモス」／㈱日本ドライ介護用品のスマイル／開江幸二／冨田貢／野菊の会／ナルク水戸／㈱業電社／Cookぽーの／ぱるーん・レインボー／水戸市介護保険課／市川由里子／第一生命保険㈱水戸支社水戸西営業オフィス／水戸市保護観察所社会貢献活動係／水戸市社会福祉協議会緑岡支部／大津能子／コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」／秋葉欣二／（公社）いばらき被害者支援センター／水戸市社会福祉協議会常磐支部／つばさ保育園／清水千寿／進藤美代子／加藤勝子／吉田美恵子／赤塚女性会／吉岡博子／（有）アーク・オフィス／あおい玩具㈱／浜田地区高齢者クラブ連合会／ミュージックベル28♪響（ひびき）♪／㈱カワスミ／加藤瑞穂／篠原晃／はつらつ水戸交友会／茨城県社会保険労務士会／熱田悦男／茨城歌人会／東水運輸㈱／水戸市高齢福祉課／サークル・点心／吉田潤一／水戸要約筆記サークル萠／㈱エバタコーポレーション／水戸ライオンズクラブ／㈱永井ガラス／水戸ホーチキ㈱／エキスパート㈱／水戸通信工業㈱／㈱フジクリーン茨城／浅野志津代／藤原康子／みと東部特別養護老人ホーム／水戸千波郵便局／㈱匠建築研究室／はつらつサークル／木村紀子／望月総合法律事務所／鈴木つぎ子／石川則夫／㈱ダイナム／四本恵子／昭和32年度赤塚中学校卒業生ポプラの会／大和ハウス工業㈱茨城支社／話音絵＝わおんかい／ボーイスカウト水戸第２団／水戸河和田郵便局／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会東部支部／水戸市シルバー人材センター手芸サークル／久野和子／吉沢学区子ども会育成連合会／君島まり子／城東女性会／黒沢保夫／塙恵美子／稲葉利枝／本山礼子／川村和雄／水戸下市郵便局／高橋建設工業㈱／堀原住民の会／水戸ヤクルト販売㈱／明治安田生命保険（相）水戸東営業部／水戸市保健推進員城東支部

編集後記

昨年、水戸市社協の研修にヒントを得て、見川地区で“サンタが我が家にやってくる”というサンタクロースが子どもにプレゼント（親からのプレゼント）を届ける企画を行いました。初めての試みだったので、数名の応募でしたが、子どもたちは大喜びで家族からも感謝されました。コロナ禍で多くの活動が制限された中で、これは密にならないと思い行いました。子どもたちの喜びを見て本当にやって良かったです。

クリスマスの日、孫から「おばあちゃんにはサンタさんが来なかったの？」と聞かれ、子どもの純粋さに心が洗われました。子どもたちの夢を大切に今後も“サンタが我が家にやってくる”を続けていければと思います。そして、若い世代が地域活動に目を向けてくれることを期待します。（林　由香里　記）

編　集　水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
発　行　社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141　水戸市赤塚 1-1
（水戸市福祉ボランティア会館内）
TEL 029-309-5001
FAX 029-309-5525
URL　http://www.mito-syakyo.or.jp
E-mail　syakyo@mito-syakyo.or.jp

皆さまよりお寄せいただいたご芳志は、各種事業に活用されています。

令和4年（2022年）3月15日号

ボランティアセンターだより

（シンボルマークと標語）

広げよう　心のふれあい　ボランティア

問合せ・申込み等
水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1（水戸市福祉ボランティア会館内）
TEL 029-309-1011　FAX 029-309-1139
https://www.mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日　9:30～16:30

令和４年度 ボランティア活動保険加入のご案内

国内においてボランティア活動中に起きた、ご自身のケガや相手（他人）に対して損害を与えてしまい損害賠償問題が発生したときに補償します！万が一に備えて、ぜひご加入ください。

【補償期間】令和4年4月1日～令和5年3月31日まで（申し込み翌日から）

【年間保険料（１名あたり）】

プラン	①基本プラン	350円
	②天災・地震補償プラン	500円
	③特定感染症重点プラン	550円

⬅ R4年度からの新設プラン！

※災害ボランティア活動の参加は、地震・噴火・津波による死傷も補償対象となる②、③プランの加入をおすすめします。

補償内容及び保険金	自身	死亡保険金	1,040万円	事故発生から180日以内に死亡
		後遺障害保険金（限度額）	1,040万円	後遺障害に応じて１級から14級
		入院保険金日額	6,500円	事故の発生日から180日以内の入院
		手術　入院中	65,000円	１事故につき１回の手術
		手術　外来	32,500円	
		通院保険金日額	4,000円	事故発生から180日以内で90日を限度
	相手	賠償責任保険金（限度額）	5億円	損害賠償金および訴訟費用等の合計額（対人・対物共通）

※①、②プランでは特定感染症による補償は補償開始日から10日以内は補償対象外ですが、③プランは初日から補償対象となります。
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、特定感染症に新型コロナウイルスが追加されました。

加入対象者となる団体等が主催者となって行う地域福祉活動やボランティア活動に関わるイベント行事（行事参加者の実習を伴う講習会や研修会を含む）を対象とした**ボランティア行事用保険**もございます。
保険料や補償内容その他の詳しい内容につきましては，ボランティアセンターまでお問い合わせください。

ベルマーク運動サポーター養成講座を行いました♪

～令和３年度地域活動ボランティア養成講座～

「ベルマーク運動サポーター養成講座」を昨年の12月13日（月）・20日（月）の2日間にわたり水戸市福祉ボランティア会館において開催しました。（参加者12名）

本講座は、ベルマーク運動を行っている市内の小学校などに「整理」・「仕分け」・「集計」をしたベルマークを届け、その運動の手助けをするボランティア人材の育成を目的に実施したものです。講師は公益財団法人ベルマーク教育助成財団の職員の方々をお迎えし、13日はベルマーク運動の歴史とベルマークの仕分け集計の仕方についての講話、20日は実際に仕分け、集計作業を行いました。

また、1月18日（火）には、フォローアップとして今後の活動やサークル設立に向けての座談会を開き、ボランティアセンター職員も参加して終始和やかな雰囲気の中で話し合うことができました。今後の活動にあたり皆様からのベルマーク運動へのご協力をお願いいたします。